



避難情報が迅速に届いていますか？ 家庭に緊急告知ラジオ の設置を進めよう！

台風15号、19号と1ヶ月の間に甚大な風水害被害が連続して発生しました。報道では、「情報がなくてどうしたらいいかわからない」と、被災された方が訴えています。

多くの方が避難所暮らしから早く元の暮らしに戻れるよう政府を先頭に復旧対策を進めなくてはなりません。また情報不足に対する対策も急がなければなりません。

緊急告知ラジオの購入補助制度を！

緊急告知ラジオは、緊急時、自動的にスイッチがオンになり、緊急放送が聞けるラジオです。岡山市では昨年度3844台が町内会、自主防災会、幼稚園、小学校、中学校や避難所等に配備されており、町内会等への情報を市民に電話等で伝える時間と人手が必要です。各家庭にこのラジオがあれば、この問題は一定解消され、避難行動等の応援に回れます。

津山市では、緊急告知ラジオ購入補助で価格9250円が3250円で購入できます。多くの家庭の設置に向け「岡山市でも同様の補助制度を設けないか」と9月議会で質問をしました。

河野理事は「緊急告知ラジオは、高齢者等の方にとって便利だと把握している。津山市の例もあるが、どういう形がいいか、今後研究してまいりたい」との答弁でした。

気候変動で災害が多発化している現在です。早めの避難が重要です。市民の命を守る自治体の姿勢が問われています。直ちに購入補助を始めるべきです。

地域で共に生きる 認知症の理解を深めよう！ サポーター養成講座に出かけよう

認知症サポーター養成講座は、認知症の症状や接し方等、正しい知識を積極的に普及することを目的として実施しています。

「認知症サポーターに期待されていることは、実践的なサポートを行うことや地域のリーダーとして動くことであり、そのためには認知症サポーター養成講座に実践的なものを取り入れるべきではないか」との質問に対し、福井局長は「地域で認知症の方を支える認知症サポートリーダー養成研修を実施し、カフェ開催や市の啓発活動に協力していただいている」と答弁しました。

「商店街やショッピングモールと認知症サポーターとの連携は考えられないか」との質問に、局長は「認知症の方が安心して買い物ができるためには、小売店舗や交通関係者の理解が必要。認知症サポーター養成講座により多くの企業等に受講を働きかけるとともに、連携について検討してまいりたい」という答弁がありました。

認知症の方を理解し、サポートできる地域に変わっていくことが今後ますます求められると思います。皆さんもぜひ認知症サポーター養成講座を受講してください。

下市このみ事務所からのお知らせ

▼11月24日(日) 第12回下市このみ後援会親睦旅行
「出雲神楽を見に行こう！」
今年も日帰り旅行を計画しました。ぜひ一緒にしましょう。詳細は、下市このみ事務所までお尋ねください。

▼11月定例市議会 11/29(金)～12/17(火)

▼12月1日(日) 第41回ひまわりマーケット
10時～ 高屋公園

例年秋は11月に実施していましたが、今回は12月に実施します。大掃除前に、家庭用品などバザーに出してみたいはいかがでしょうか。